解　説

第20章　　　医療・衛生・環境

医療施設数・病床数

病院数は減少・一般診療所数は増加、病床数は減少

　医療施設調査によると、令和元年10月１日現在の病院数は、一般病院475施設、精神病院38施設、合計513施設で、前年に比べ４施設減少しました。一般診療所は8,533施設、歯科診療所は5,517施設で、前年に比べ一般診療所は52施設増加し、歯科診療所は１施設減少しました。

病床数は10万5,441床で、前年に比べ553床減少しました。

病院数、病床数



[第20章1表より]

死因別死亡数

3.4人に１人が悪性新生物(がん)で死亡

　人口動態統計によると、令和２年中の死亡数は9万1,644人です。最も多かった死因は悪性新生物で2万6,728人(全死亡数の29.2％)、次いで心疾患(高血圧性を除く)1万4,754人(同16.1％)、肺炎6,311人(同6.9％)で、これら３疾患で全死亡数の半数以上を占めています。

従来は悪性新生物、心疾患、脳血管疾患が三大死因といわれていましたが、平成17年以降、肺炎が脳血管疾患を上回っています。

主な死因別死亡数



[第20章15表より]

感染症・食中毒

患者総数は新型コロナウイルス感染症の影響で激増

大阪府健康医療部によると、令和２年の感染症・食中毒の患者総数は33,916人で、前年に比べ2万7,739人(449.1％)増加しました。

感染症類型別では、結核が1,400人(前年比219人、13.5％減)、食中毒が605人(同347人、36.4％減)、梅毒が902人(同199人、18.1％減)と、それぞれ減少した一方、新型コロナウイルス感染症が含まれるその他の感染症は3万1,009人(同2万8,504人、1,137.9％増)と増加しました。

感染症・食中毒患者数



[第20章17表より］

ごみ処理

排出総量は減少

　大阪府環境農林水産部によると、令和元年度のごみの排出総量は308万5千ｔで、前年度に比べ1万7千ｔ(0.6％)、10年前(平成21年度)に比べ45万6千ｔ(12.9％)、それぞれ減少しました。

資源化された量は40万4千ｔで、リサイクル率は13.1％と、10年前に比べ1.3ポイント増加しました。

ごみの排出総量、リサイクル率



[第20章20表より]